

医療機関に勤務する管理栄養士の皆様 ご協力お願いします！

血糖コントロールに有効であることが実証された 『生活習慣改善プログラム』を 外来栄養食事指導で実施してみませんか？

生活習慣病の改善は継続的にライフスタイルの改善に取り組むためのしくみが必要です。私達はこれまで2型糖尿病の方を対象に、外来栄養食事指導時にライフスタイル改善プログラム『SILE』(Structured individual-based lifestyle education)を実施すると、6か月間でHbA1c値を平均0.9%改善できるということを立証してきました^{1,2)}。

現在、外来栄養食事指導時に『SILE』プログラムを用いて栄養相談を実施していただける管理栄養士を募集しております。ご協力いただける管理栄養士には、プログラムの実施マニュアルに基づく実施手順や研究に関わる作業等の説明をさせていただき、アセスメント票等の使用帳票類、指導媒体はすべて無償で提供させていただきます。

『SILE』プログラムは、外来栄養食事指導を受ける患者様と支援する管理栄養士に、患者様が取り組んだ行動の変化や成果を実感できる工夫がされたプログラムです。ぜひ、体験していただき、研究にもご協力していただければ幸いです。ご協力いただける方々には説明に伺わせていただきますので、下記のFAXにてお申込みくださるようお願い致します。

なお、本研究は帝京大学倫理審査会の承認を得ておりますが、所属施設で研究計画書等の必要な文書がありましたらお申し出ください。また、こちらから施設長等に研究内容の説明に伺うことも可能です。ご不明な点は下記までご連絡をお願い致します。よろしくお願い致します。

栄養サポートネットワーク合同会社 代表・管理栄養士

(帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 客員研究員)

安達 美佐

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授

山岡 和枝

問い合わせ先 栄養サポートネットワーク合同会社 042-765-6393 (安達美佐)

*詳細はホームページをご確認ください <http://www.nutrisupport.co.jp/>

- 1) Adachi M, Yamaoka K, Watanabe M, Nishikawa M, Kobayashi I, Hida E, Tango T. Effects of lifestyle education program for type 2 diabetes patients in clinics: study design of a cluster randomized trial. BMC Public Health 2010; 10:742
- 2) Adachi M, Yamaoka K, Watanabe M, Nishikawa M, Kobayashi I, Hida E, Tango T. Effects of lifestyle education program for type 2 diabetes patients in clinics: a cluster randomized controlled trial. BMC Public Health 2013; 13: 467.

*この論文は「糖尿病診療ガイドライン2016」、「米国内科学会誌 Systematic Review」、「米国脂質学会誌 Recommendations」に引用していただきました。

FAX 送付先 042-765-6393

* にチェック『レ』を入れてください

研究の説明を聞きたい

施設長等に説明に来てほしい

氏名: _____

所属施設名: _____

所属施設の所在地: _____

県

市(町)

連絡先電話番号: _____

個人 勤務先

メールアドレス: _____

個人 勤務先

いただいた情報は説明会のご案内、研究説明のご連絡以外には利用しません



研究名	2型糖尿病患者を対象とする行動タイプ別アプローチによるライフスタイル改善の効果の評価—行動タイプ別の2つの臨床試験を実施するアプローチ		
研究実施者	栄養サポートネットワーク合同会社 代表・管理栄養士 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科 客員研究員) 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授	安達 美佐 山岡 和枝	
問い合わせ先	栄養サポートネットワーク合同会社 042-765-6393 安達 美佐 詳細はホームページをご確認ください http://www.nutrisupport.co.jp/ (帝京大学倫理委員会承認番号：帝京 15-222 UMIN 登録番号：UMIN000023087)		

実施要領

1. 研究期間

本研究は平成 29～31 年度の文部科学省研究助成の研究として、本年 10 月以降、随時開始し、全体の必要症例数が蓄積するまで実施します。(症例蓄積期間は 2 年間で予定)

2. 実施場所

所属の医療機関 * 外来栄養食事指導時に実施するため診療報酬を算定できます。

3. 実施内容

- 『SILE』プログラムに対象者の行動タイプに応じたアプローチを行う『BETSILE』(Behavioral type-specific SILE) プログラムは、『SILE』プログラムに比べて、より効果的な血糖コントロールが可能であるか検討します。どちらかのプログラムを実施します。
- 『SILE』プログラムでは、6 か月間に 3 回程度の面談を実施します。初回面談時に管理栄養士は対象者が血糖コントロールのために最も効果的な行動目標を設定できるよう促します。初回面談から 1 か月目および 2～6 か月の間に 2 回程度(必要に応じて 3 回以上も可能)の面談を実施し、行動目標の実施状況を評価しながら取り組み状況に応じたフォローを行い、良好な血糖コントロールをめざします。進め方の手順やアセスメントおよび評価の項目や基準は統一し、対象者も管理栄養士も設定目標がどこまでできて、どこができていないかを共有することができるようになっていきます。
- 『BETSILE』プログラムは対象者の行動タイプに応じたアプローチの要点を加味しながら、面談を進めますが、全般的に『SILE』プログラムと同様に進めます。

4. 対象者(2型糖尿病の患者様)にお願いすること

初回面談を実施する前、初回面談から 6 か月後と 12 か月後に食事調査(食物摂取頻度調査票)と血液検査の実施をお願いします。血液検査は診療上のデータを提供いただきます。

5. 管理栄養士 1 名あたりの対応症例数

2 型糖尿病の患者様 9 名 (研究期間内で 10 名以上の対応も歓迎です。)

全体で必要症例数(予定 288 名)が蓄積した時点で研究は終了となり、9 名に満たなくても終了となります。* 管理栄養士は全国で 32 名のご協力が必要です。

6. 研究協力に対する謝礼

研究に関して対象者の登録・評価時の手続き、食事調査結果および検査値データの入力(所定のフォーマットがあります)等に対して一般財団法人『ヘルス・サイエンス・センター』より研究助成を受けることができたため、管理栄養士 1 名につき 1 万円の謝礼をお支払いさせていただきます。なお、やむ終えない事情で協力を中断したい場合にはいつでもやめることができ、それによる不利益は一切ありません。謝金の返金も不要です。

